

2023年6月18日

2023年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 誠心会

ホーム名 こたにがわ学園

代表者・役職名 氏名 小谷川元樹(代表)

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

洗濯機の買い替えによる住環境整備事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2004年7月に子育て教育支援を行うNPO法人を設立し、同年9月に自立援助ホームこたにがわ学園を開設しました。2014年5月に定員を増やし、こたにがわ学園園舎を新設し、松戸市小金原に移転し、現在に至ります。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

経年劣化で不調の洗濯機があり、使用できる洗濯機の台数が十分でなく使用ピークの夜間で洗濯の順番待ちや、使用できず洗濯物を溜めてしまう事案が発生していました。自立に向けた生活をしていくためには、安心して暮らしやすい環境を整える必要性がホームにはあると考え、助成の申請をいたしました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

施設内の洗濯機5台を買い替えを行い、入所している子どもたちが少しでも快適に過ごせるために住環境の整備を行います。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

十分な洗濯機の台数が確保できたことで、洗濯機の使用の順番待ちや、洗濯物を溜め込んでしまうなどの事案が劇的に減少しました。以前の洗濯機では夜間に使用すると振動と騒音でトラブルになりそうなこともございましたが、新しい洗濯機ではその問題も解消され、快適な生活がおくれるようになっています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

現在の園舎になってからまもなく10年が経とうとしています。今回の洗濯機のように、今後さまざまな家電で経年劣化による不調が出てくるのが予想されますが、資金調達の困難から買い替えなどは容易ではないことが考えられます。対応策を検討するとともに、今一度子どもたちの自立に向けた生活環境の整備に力を入れていく必要性があります。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

